

日米研究インスティテュート (USJI)
日米安保 50 周年記念シンポジウム
来賓挨拶 ジェームズ・ズムワルト (米国大使館首席公使)

日米間の相互理解を深めていこうという日米研究インスティテュートの取り組みは極めて重要であり、このような形で支えることができるのを大変嬉しく思います。

また、今後の日米関係を担う学生のみなさまが多数来場していることに有り難く思います。

日米安全保障は、両国の友好関係と共通の価値観に基づいています。これが日本だけでなく、アジア太平洋地域全体の平和と繁栄の基礎となってきました。

しかし、ルース米国駐日大使が指摘するように、日米同盟は非常に特殊な関係です。まず、ひとついえることは、日米同盟が軍事以外に、経済、科学、文化などあらゆる分野に影響を及ぼす深く、広い協力関係だということです。たとえば科学分野での協力は、宇宙から深海まで及びます。もうひとつ特徴的なのは、日米のイノベーション力です。日米は両国で特許出願件数が世界で 5 割を占め、研究開発支出が世界で 4 割を占めるなど、技術開発で主要な役割を果たしています。また、日米関係の将来の相互理解を深めるためにも、JET プログラムをはじめとする教育交流も非常に重要です。

日米関係の底力はこういった経済、科学、文化、教育の協力関係に裏打ちされています。その上に日米安全保障の結びつきがありますが、これも今後さらに進化しますし、我々の手で育てていかなければなりません。

日米研究インスティテュートがこうして日米両国の専門家の忌憚のない意見を聞く場を設けたことは間違いなく人と人との結びつきを強めることとなります。

本シンポジウムが今後 50 年の同盟の発展に寄与するものになることを期待しています。

(了)